



令和4年3月1日現在

人口	14,261 人
男性	6,885 人
女性	7,376 人
世帯数	6,740 戸

合併50周年記念

これが分かれば本郷通？ がぺ検 1

本郷小学校校桜並木



本郷村と松本市の合併から令和6(2024)年5月1日で50周年を迎えます。

その間、本郷はどのように変わり、何が変わらなかったのでしょうか。

地域の移り変わりを知り、本郷地区への誇りと愛着を今以上に深めていただくことを願い、あんなこと、こんなこと、そして豆知識を合併記念本郷通検定(略して「がぺ検」として連載します。

難問・奇問・珍問に挑戦し、あなたの「本郷通度」をご家族やご友人と一緒に楽しめください。

答えと解説は、合併50周年

記念式典において発表する予定です。

〈第1章スポーツ〉

第1節 野球・ソフトボール

問1 野球場の南側に昭和6年から13年まであった施設は？

平成3年5月、^{こけろ}柿落とし試合に関する問題です

問2 対戦チームは？

問3 3択です。柿落とし試合の記念品は？①シャープペンシル ②下敷き ③ミニチュアボール

問4 球場最初のヒットを打った選手の所属するチームは？

問5 最初のホームランを放った選手は？

問6 始球式を行った投手役と捕手役は誰？

平成3年6月、最初のプロ野球公式戦に関する問題です

問7 対戦チームは？

問8 プロ第1号ホームランを放った選手は？ (つづく)

本郷山林火災から20年を迎えて

本郷財産区議員
滝沢 廣重



本郷地区山林火災・復旧の記録から抜粋

思い起こせば火災を知ったのは、県外に所用で出かけていた時に携帯電話に掛かってきた家族からの知らせでした。

その後、県・市の林務課からも所有する山林の問い合わせがあったため、大変な状況になっていたことを察し、所用先でのNHKテレビ中継を見て、未だ延焼拡大中であったため、早々に帰宅することとしました。

途中、三才山地籍での通行

合併50周年にあたり編集する記念誌用資料の収集をしています。昔のパンフレット、記念品、8ミリビデオなどをご提供いただける方は本郷公民館までご連絡ください。

TEL 46-1500
FAX 45-1014

規制、友人と出かけたため、友人宅(岡田下岡田地籍)から見た御殿山の火災状況や、延焼中の火柱、改めて非常に大きな火災だったのだと今でも思い浮かびます。

また、自宅までの道のりでは、女鳥羽川原橋や坂本の湯前で通行規制され、そのたびに誰かを受けてました。

驚いたことに自宅前の通りでは7m間隔で自衛官が立っていて、自宅に入るのに質問を受けました。

既に近隣では避難勧告が出ていることや、家族が在宅していたため、避難するよう託されたこともありました。

自宅では、家族に発生状況や避難状況を聞くなどして改めて事態の大きさを痛感しました。

広く伝わっているように当日風が強かったことが被害拡大の要因で、もし風向きが少しでも変わってれば更なる被害をもたらしたかもしれないと思うと今でもぞっとします。

発生から20年となり、火災の恐ろしさと山のこれからのついてもう一度考える機会ではないかと思っています。

浅間温泉第5町会

オルゴールコンサート

コロナ感染症が下火になった昨年11月27日(土)午後第3回目のオルゴールコンサートをフジゲン(株)様のご協力で開催することが出来ました。前年は中止になり、2年ぶりの開催には除菌、検温、密を避けての会場づくりにと感染予防対策に力を入れました。



童謡、クラシック、映画音楽等40曲程で、目を閉じて聴く曲全て、一曲は約80秒前後。80弁縦型の大型ディスプレイオルゴールから流れるこの80秒はゆったりで、参加者20名程の心はリラックスし、リフレッシュしました。コロナ禍でも開催すること考えた今回の企画は、次回に繋がる一歩だったと思います。(浅間温泉第5町会)

三九郎の あれれ

惣社の三九郎



令和4年1月9日、惣社公民館主催による三九郎が開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により直前に中止が決まり、惣社伊和神社境内にてお焚き上げを行いました。コロナ禍により様々なイベント、伝統行事が中止になるなかで、今回開催するにあたり公民館役員、PTA役員の方々には大変なご苦労があったと思います。準備などの段取りの変更、通常とはやり方を変えるなどして開催されたとお聞きし、敬意と感謝をするばかりです。三九郎の炎で新型コロナウイルスを焼き尽くし来年も開催されることを切に願います。

(惣社2丁目 H)

稲倉の三九郎今昔

今年も正月恒例の三九郎が

1月8日稲倉ふれあい広場で行われました。

コロナ禍で中止になっていた行事が多い中、子ども達が楽しみにしている三九郎が、消防団の見守りのもと開催され本当に良かったです。午後5時に大小2つの三九郎に火が点けられると、薄暮の夕闇に紅の炎が瞬く間に燃え上がりました。

私が子どもの頃の三九郎は、女鳥羽川の河川敷で行われていました。男子は三九郎作り、その間女子は公民館でカレーライス作り、お昼に皆で食べたことは、とても楽しい思い出です。もっと昔は児童も多く3ヶ所程で作られていたそうです。

(稲倉 K)



浅間温泉第8の 三九郎と子ども達

三九郎。全国的にはほとんど焼きと呼ばれる習慣が中信地区ではこう呼ばれています。



私たちが子どもの頃は、火にくべる子もいます。高く舞い上がると書の腕前が上だと信じられているからです。



燃えて倒れたご神棒を除け、まだおきの火が熱くて近寄れない時は柳の枝の出番。それぞれ持ち寄った繭玉やウィンナー、マシユマロをおきの火であぶります。花より団子ならぬ三九郎より繭玉ですね。火をまつすぐに見つめる子ども達の横顔を見つめ、1年間を無事に健康で過せるよう祈りました。

(浅間温泉第8 K)

初のミニ文化祭開催

令和3年11月21日・23日に横田第一公民館で、ミニ文化祭が開催されました。



町会では初めての試みで、新型コロナウイルスの影響で町会の行事が殆ど中止となるなか、「密」にならないよう、十分配慮して行われました。

小・中学生のイラストや習字、横田さくらの会の皆さんの作品が展示されました。

どの作品も素晴らしく多才で、驚かされました。手作りポプリのコーナーもあり、子ども達も楽しんでいました。

今後ミニ文化祭を通して町会の皆さんの親睦の場になると良いですね。

(横田第1 T)

古今東西

ひとときの安らぎ

コロナ禍の中、昨年の10月頃から、全国的にも感染者が減少した中、今まで会うことの出来なかった遠方の家族、友人と久しぶりに再会出来た方も多くいらつしたと思います。そんな中でもマスク、手洗い、消毒を徹底して皆さんも気遣われていたこととでしょう。

私もそんな中、久しぶりに主人と外食しました。美味いお料理はもちろん店の



中に流れている音楽が1970年から1980年頃のポップスなんです。ジャズ、クラシックが流れているお店はあります。少しびっくりしましたが新鮮な感じがしました。私と主人の青春の音楽でしたので、とても懐かしく料理を口にしながらもその頃の自分達を思い出したりもしました。コロナ禍の中感じたひとときの幸福な時間でした。

まだまだコロナの終息が見えない状況ではありますが、気持ちには前向きに持ちつつ一日一日を過ごしていきたいです。

(浅間温泉第1 Y)